

クリエイティブミリュ (Creative milieu) について

浜松市創造都市アドバイザー 佐々木雅幸氏 勉強会資料より

Creative milieu セレンディピティ (偶然の発見、思わぬものを偶然に発見する能力) が生まれる『場』、クリエイティブクラスが集まる『場』

Master course of Urban Policy

C.ランドリーの創造都市政策論

Landry, C., *The Creative City : A Toolkit for Urban Innovators*, London: Comedia, 2000

◇都市問題に対する創造的解決のための「創造的環境」creative milieuをいかにして作り上げ、運営して持続的にしていくのか、セレンディピティが生まれる「場」、クリエイティブクラスが集まる「場」をどうつくるのか？ 実践的に「創造都市をつくるための道具箱」を提供するコンセプチュアルな「創造都市政策論」。



創造階級が好んで居住する都市や地域の特徴

人材 (Talent)、技術 (Technology)、寛容性 (Tolerance)

創造人材を受け入れる寛容性(R. フロリダ)

■R.フロリダは、21世紀型都市の新しい担い手として「創造階級」の登場と勃興に注目し、そのエートスと仕事およびライフスタイル、そして彼らが選択するコミュニティの特徴を分析し、創造階級が好んで居住する都市や地域こそ、経済的パフォーマンスが優れていることをわかりやすい具体的な指標によって示した。世界の都市政策に大きな影響を与えた彼の「創造性指数」は3つのT、すなわち、

- Talent 人材
- Technology 技術
- Tolerance 寛容性、雅量

「ゲイ指数」とはゲイの人々が隣に住んでいても排除せずに、受け入れる「寛容性」を意味している。すなわち、既成の価値観にとられない前衛的なアーティストのような人々を排除しないコミュニティこそ創造的で、ハイテク分野の先端的な人材が好んで住む社会的環境を特徴付ける